

繋がり

～ハーモニカ横丁 in 吉祥寺～

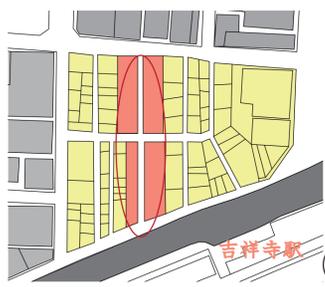
現在、若者の中で多くの横丁が注目を浴びている。その中でも多くの常連さんが集い、賑わう印象の吉祥寺のハーモニカ横丁だがまだ常連さんが多く若者がその空間に入りにくい現状がある。そこで、コロナで変化したコミュニケーションの在り方や人との距離感を踏まえ、ハーモニカ横丁の良さでもある密集した空間を活かし、若者が入りやすい空間を提案する。

◆ハーモニカ横丁

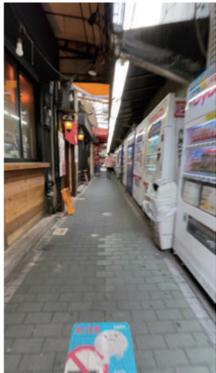
吉祥寺駅北口にある戦後の「闇市」から続く商店街。細い路地の中に商店や飲食店（居酒屋）が約100件立ち並ぶ。仲見世通り、中央通り、朝日通り、のれん小路、祥和会通りの五つの通りで構成されている。飲み屋街として有名であり、夜にはサラリーマンなどが多く集う。

*対象敷地：朝日通り

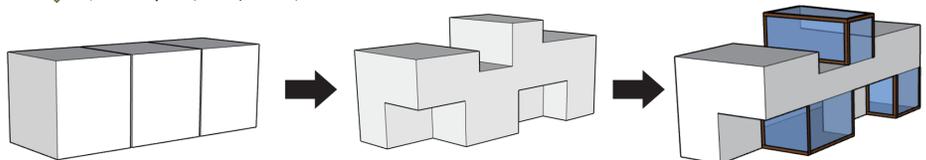
東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目1-4



敷地面積：510㎡
ハーモニカ横丁の中の通りの一つ。他の通りに比べ活気がなく、シャッターが閉まっているところもある。

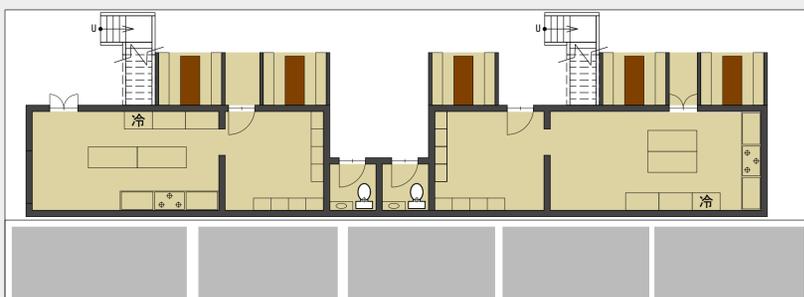


◆ダイアグラム

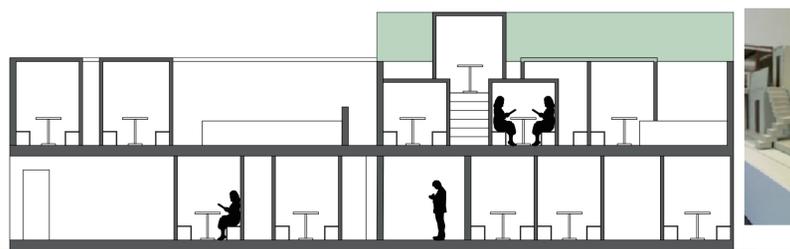
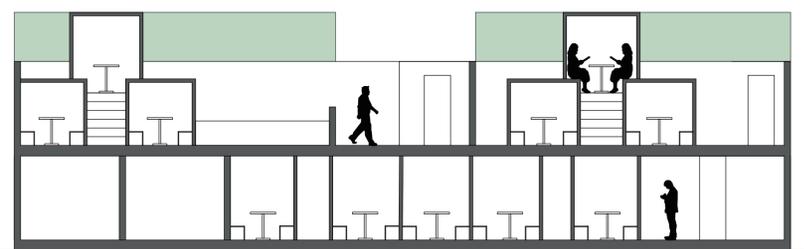


- ① 密集した、ハーモニカ横丁から隙間を作り出す。
- ② 高さや奥行きを変化させ、人との距離感を作り出す。
- ③ ガラスやフレームで内と外を曖昧にして、通りから店内の様子を伺いやすくする。

◆平面図 外に小さなレストスペースを設けることで誰でも立ち寄りやすくする。



◆断面図



S=1:100

A-A' S=1:100



21910416 宮澤 七瀬

一つの通りに7店舗の飲食店を計画する。密集した空間を、壁で閉ざさず前後関係を変えたりガラス面を増やしたりすることで、入りやすく立ち寄りたくなる様な空間にする。また、高さ関係を変えることで密集した空間に出来るだけ多くの席を設けることが出来る。